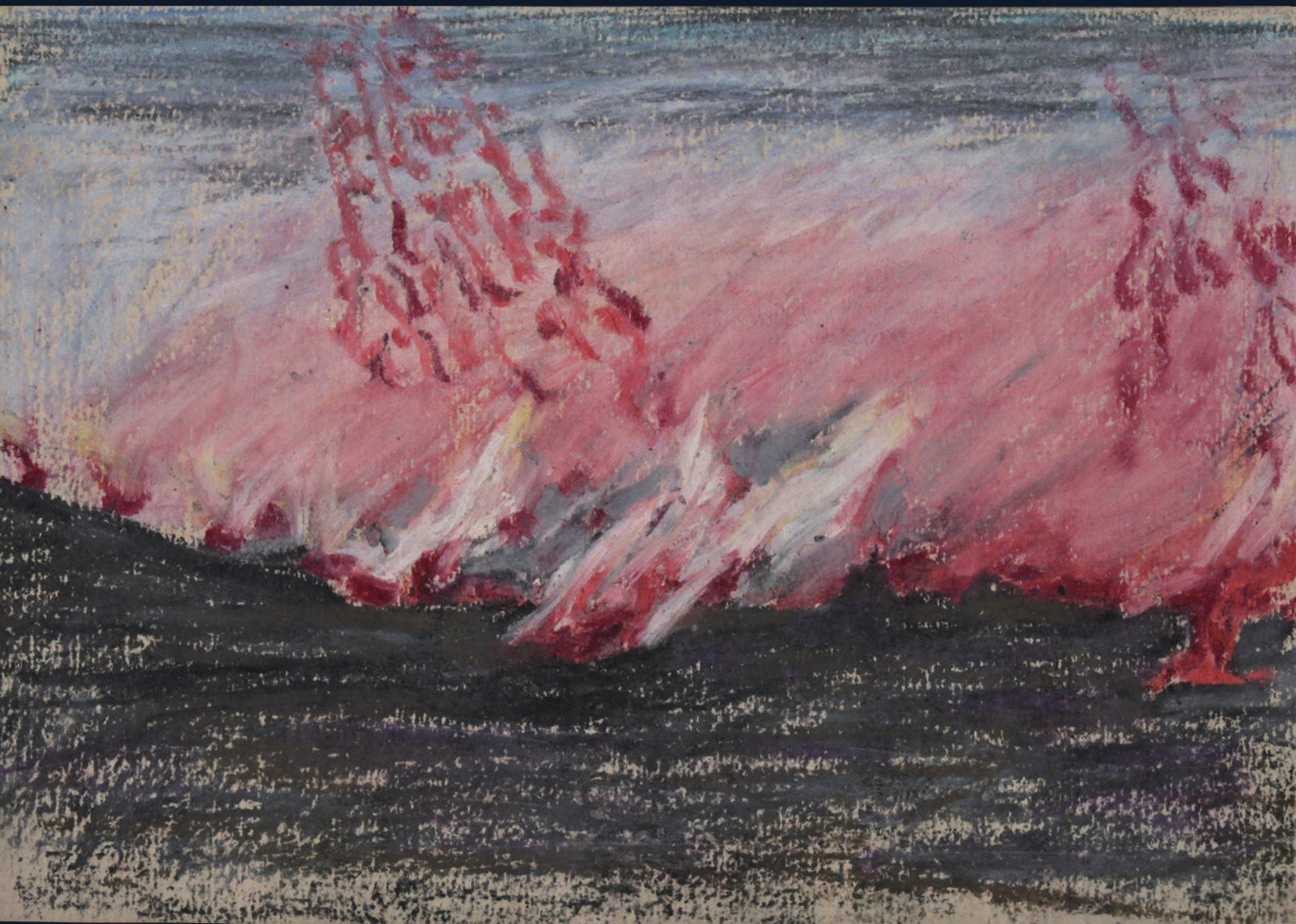


第40回

岡山戦災の記録と写真展

— 平和への思い、40年 —



1945年6月29日未明に15歳の少女が描いた岡山空襲 岡山県立記録資料館所蔵

2017年 **6月16日(金) - 7月2日(日)**

会場 岡山シティミュージアム 4階展示室・5階岡山空襲展示室
TEL 086-898-3000

開館時間 午前10時～午後6時 *入館は午後5時30分まで

休館日 6月19日(月)、26日(月)

入場無料

第40回 岡山戦災の記録と写真展

— 平和への思い、40年 —

「岡山戦災の記録と写真展」は今年で第40回目を迎えました。この企画展示の大きなテーマの一つである岡山空襲が行われた1945年(昭和20)6月29日から70余年が経過しました。しかし、私たち岡山市民は、戦時中私たちが暮らしている街が空襲により一面焦土となったことを忘れてはなりません。

戦後まもなく、昭和20年の翌年には既に岡山市が情報収集を行い、戦災史を刊行しようという動きもありましたが、実現にはいたりませんでした。しかし、戦禍の痛手のなかでも戦災の記録収集や追悼行事等は行われてきました。戦後20年の年には岡山市戦災20周年記念展覧会も開催されています。そして、岡山空襲から数えて33年目となった1978年(昭和53)に岡山市立図書館により第1回目の「岡山戦災の記録と写真展」が開催され、その後、様々な平和を祈念する企画展示等につながっていきました。

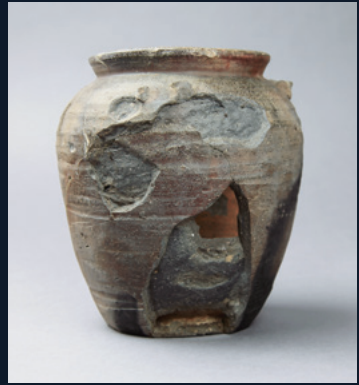
第40回目の開催となる今年は、「市民の暮らし」、「平和への思い」という視点から、戦争末期や終戦直後の困難な状況や平和を願う人々の様々な記録について展示し、岡山のたどった復興の歴史を振り返るとともに平和を希求した活動を顕彰することでその思いを新たにします。

第40回目の開催となる今年は、「市民の暮らし」、「平和への思い」という視点から、戦争末期や終戦直後の困難な状況や平和を願う人々の様々な記録について展示し、岡山のたどった復興の歴史を振り返るとともに平和を希求した活動を顕彰することでその思いを新たにします。

岡山空襲について

1944年(昭和19)から翌年にかけて、日本全土において市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山市の場合は1945年(昭和20)6月29日に大規模な空襲を受け、当時の市街地の63%を焼失し、少なくとも1737人*の死者が出ました。

*2000人をこえるという説もあります。



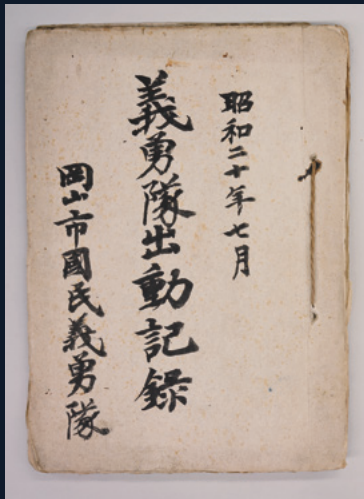
岡山空襲で焼けた備前焼の壺
岡山空襲展示室所蔵



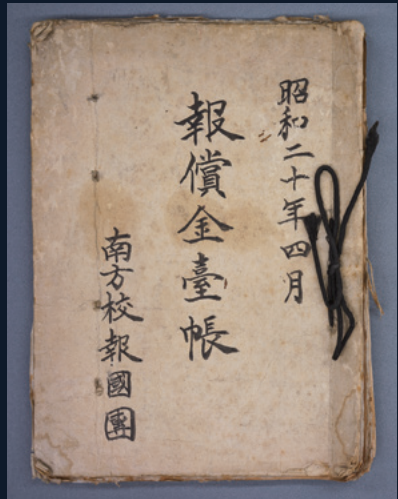
南区宮浦で採集された12.7mm機銃の弾
(B29に搭載されていたとおもわれるもの。)
岡山空襲展示室所蔵



『国民抗戦必携』
津山市総務部人権啓発課所蔵



「昭和二十年七月 義勇隊出動記録」
岡山市国民義勇隊
岡山市立中央図書館所蔵



「昭和二十年四月 報償金台帳」
南方校報國團
岡山市教育委員会所蔵

記念講演会 「戦争で破壊された暮らし」

小泉和子さんの多くの業績の中で特に注目されるのは、戦中、戦後における日本の暮らしについての研究とそのアーカイヴです。ご自身も横浜空襲を体験され、戦争による大きな変化を体験しておいでですが、この講演会では困難な戦時中を過ごした人々の生活や生き延びるための暮らしの工夫、それによって現在の私たちの生活がどう変化していったかについて、お話ししていただきます。

講師
日時
場所
定員

昭和の暮らし博物館 館長 **小泉 和子さん**
2017年6月17日(土) 午後1時30分~3時
岡山シティミュージアム 4階講義室
先着80名

展示解説

会期中の金・土・日の午後2時から展示室内で岡山空襲展示室の学芸員による展示解説を行います(約1時間)。ただし、6月17日は午前11時から。

昭和の暮らし展示 (4階ロビー)

主会場のロビー部分で、記録映画「昭和の家事」(昭和の暮らし博物館作成)の上映及び足踏みミシン・石臼などの展示と家事体験。
*家事体験は市民ボランティアが付き添う時間帯のみになります。



JR岡山駅から東西連絡通路で直結
岡山市北区駅元町15-1 岡山シティミュージアム
EXHIBITION ROOM OF
OKAYAMA CITY MUSEUM
岡山空襲展示室
TEL 086-253-7070